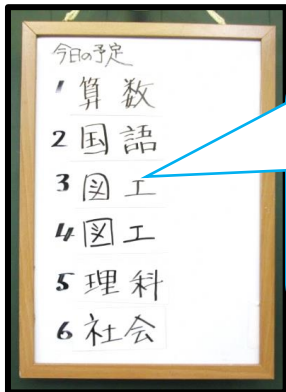
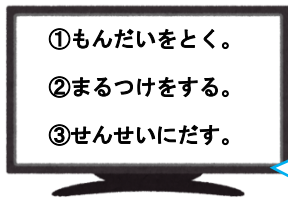



教室環境を整えよう

状況の把握をする

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
日課や授業の活動内容に見通しがもてずに不安感がある	1日の学習予定や授業の流れ等学習活動の見通しがもてるように

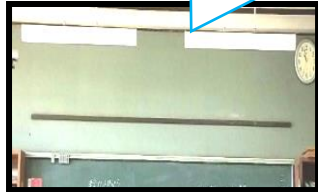


<手立て>

① 1日の学習予定を掲示する	② 1時間の流れを視覚化する
 <p>ポイント!</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 業間休みや昼休みの行事 ・ 教室移動の有無 ・ 給食の献立や掃除場所 ・ 下校の時間 等表示できるとよい。 	 <p>ポイント! ①</p> <p>電子黒板を活用し、タイムリーな掲示物として活用する。</p>  <p>ポイント! ②</p> <p>残り時間が一目で分かるタイマーを活用する。</p>

刺激の調整をする

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
掲示物や周囲の音が気になり集中することが難しい	刺激を調整し学習活動に集中できるように

<手立て>

① 掲示物の配慮	② 座席の配慮	③ 音に対する配慮
<ul style="list-style-type: none"> ・ 教室前面の掲示物を整理して、刺激を少なくする。 ・ 必要な掲示は可能であれば側面に移動する。 <p>ポイント!</p> <p>刺激の少ない教室前面</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外の様子が気になってしまう児童生徒は、廊下側に座席を用意したり、窓側の場合はカーテンを閉めたりする。 ・ 空調の影響を受けやすい児童生徒は、エアコンの風向きを考慮した座席を考える。 ・ 緊張によりトイレに行く回数が多い児童生徒は、廊下に出やすい場所に座席を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 椅子や机の脚にカバーなどをつけ、音の刺激の軽減をする。   <p>ポイント!</p> <p>聴覚過敏の場合は、イヤーマフや耳栓を使用することも有効である。その際は本人や保護者の気持ちを確認しながら使う場面を一緒に決めることが大切である。</p> 